

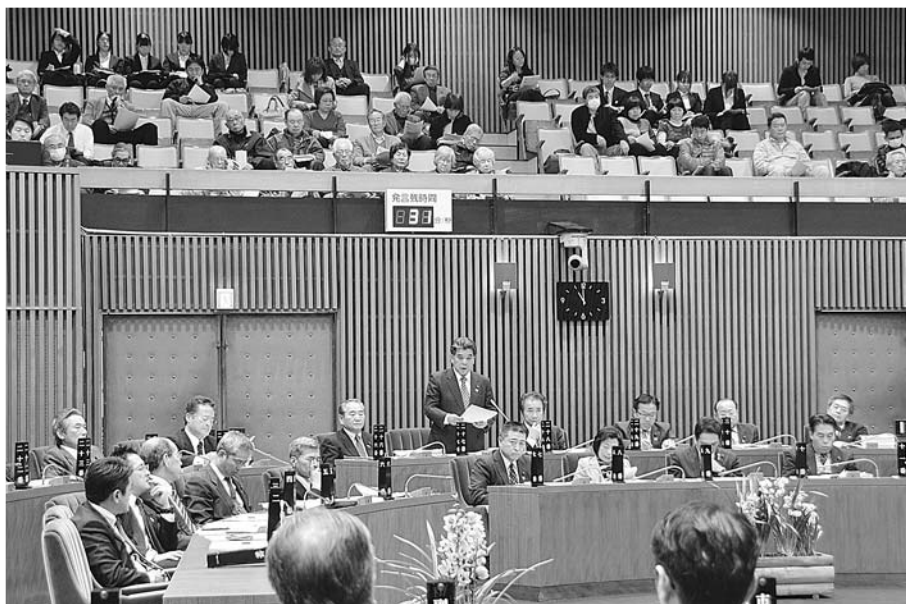
やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員



# いつわ清隆 だより 第52号

平成27年4月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：板山 孝宏 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



平成26年2月26日 代表質問にて

震災から4年が経過しましたが、未だに多くの方々が仮設住宅で生活しています。公営住宅の建設用地の確保など、問題があることは理解はするものの1日でも早い快適な環境での生活が望まれます。

定例本会議での会派代表質問・一般質問、また、全員協議会における質問と計6回登壇しました。会派代表質問は初めての経験であったため、個人的な内容は避け、代表として市政全般に対する質問となるよう配慮しました。質疑

私の3期目の任期は5月1日までとなります。4月26日に施行される統一地方選で4期目に挑戦しますが厳しい戦いとなることが予測されます。長崎市は少子高齢化や人口減少、大型事業への対応等多くの問題が山積みとなっていますので、今後も市民の皆様へ長崎市の私が考えるべき将来像をお伝えしながら「安全に安心して生活できる環境づくり」の実現に向けて諸活動を積極的に行っていく決意です。

皆様方には更なるご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

長崎市議会議員 五輪 清隆

## 4年間の支援に感謝

平成23年4月24日施行の長崎市議会議員選挙で多くの市民の方の支援により3期目に当選後、早いもので任期の4年が経過しました。

同年5月13日に改選後初の臨時議会において、議会選出の監査委員に任命され、平成25年3月末までの約2年間、毎月の現金出納検査や工事監査の書類審査・現地調査など税金が適正に運用されているかの監査を行いました。

現地調査では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地である宮城県（石巻市・名取市）に同僚議員と訪問し、①仮設住宅 ②災害廃棄物と処理施設 ③ガレキ置き場の状況調査を行い、震災後の悲惨さを目の当たりにすると共に、仮設住宅内での生活実態などを直接、見て聞いて現状の大変さを痛感しました。

その後の議会において、避難者の公営住宅または民間借り上げ住宅への入居受け入れや、長崎市でのガレキ処理の実施について提案し議論しました。

震災から4年が経過しましたが、未だに多くの方々が仮設住宅で生活しています。公営住宅の建設用地の確保など、問題があることは理解はするものの1日でも早い快適な環境での生活が望まれます。

定例本会議での会派代表質問・一般質問、また、全員協議会における質問と計6回登壇しました。会派代表質問は初めての経験であったため、個人的な内容は避け、代表として市政全般に対する質問となるよう配慮しました。質疑

## 4年間の振り返り

桜の花も満開に咲きそろい、爽やかな季節となりましたが、皆様におかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお慶び申し上げます。

平成23年4月24日施行の長崎市議会議員選挙で多くの市民の方の支援により3期目に当選後、早いもので任期の4年が経過しました。

同年5月13日に改選後初の臨時議会において、議会選出の監査委員に任命

され、平成25年3月末までの約2年間、毎月の現金出納検査や工事監査の書類審査・現地調査など税金が適正に運用されているかの監査を行いました。

現地調査では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地である宮城県（石巻市・名取市）に同僚議員と訪問し、①仮設住宅 ②災害廃棄物と処理施設 ③ガレキ置き場の状況調査を行い、震災後の悲惨さを目の当たりにすると共に、仮設住宅内での生活実態などを直接、見て聞いて現状の大変さを痛感しました。

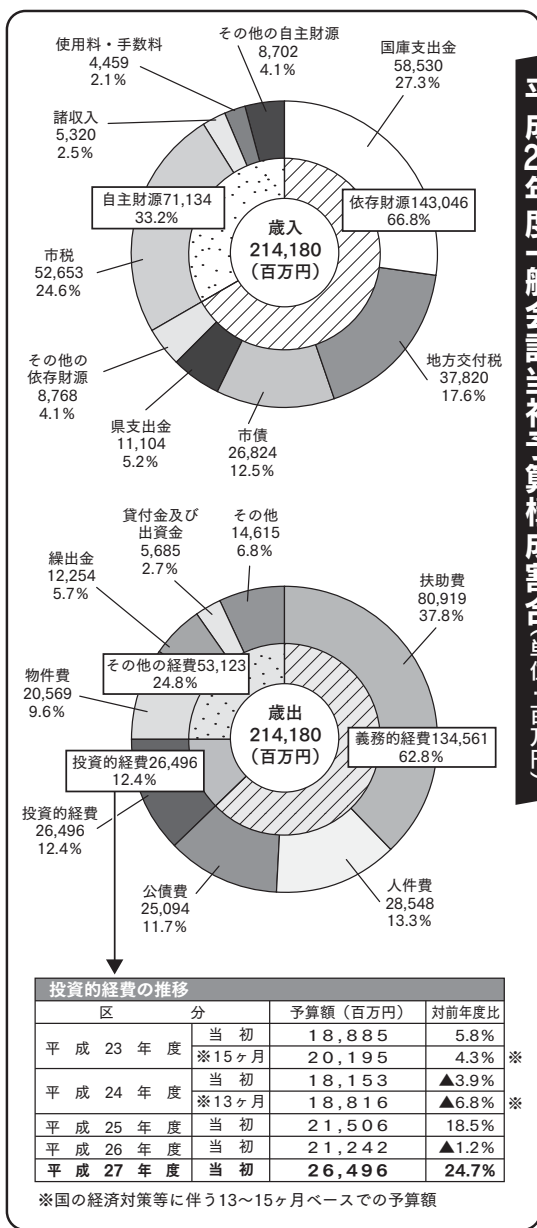
その後の議会において、避難者の公営住宅または民間借り上げ住宅への入居受け入れや、長崎市でのガレキ処理の実施について提案し議論しました。

# 平成27年度一般会計予算と

(総額:2,141億8,000万円)

# 102議案を可決・同意!

平成27年2月議会



## 平成27年度一般会計当初步算構成割合(単位:百万円)

長崎市議会・平成27年2月定例議会は2月20日(金)に開会し、3月13日(金)に最終本会議が開催され、平成27年度一般会計予算(総額:2,141億8,000万円)と102議案を可決・同意して閉会しました。

平成25年7月より総務省より派遣されていた岡田輝彦副市長が3月31日付けで副市長を辞任し総務省へ復帰することになりました。

また、今期で市会議員を勇退される5名の議員・県議会へ挑戦される2名の議員さんへ花束贈呈が行われ、全議員の集合写真撮影がありました。

◆交流拠点施設検討費  
:500万円  
長崎駅西側の交流拠点施設用地について、域外からの流入人口創出や、それによる地域経済の活性化に向け、その効果的な活用について検討する。

◆【単独】土地区画整理事業費  
:2億6,160万円  
長崎駅周辺地区  
国際文化観光都市長崎の玄関口にふさわしい都市拠点の形成を目的として、長崎駅周辺地区における土地区画整理事業を実施する。

・事業期間 平成21年度～35年度  
・平成27年度 移転補償、建物等調査 など

◆公園等施設整備事業費  
:1億3,220万円  
・鍋冠山公園展望台(夜景観光整備) 長崎市が「世界新三大夜景」都市に認定されたことを受け、鍋冠山公園の魅力向上を図るため、展望台の整備を行う。

・平成27年度 展望台改築、園路詳細設計 L=60m

◆平和祈念式典行事費  
:6,754万3千円  
被爆70周年となる原爆犠牲者慰霊平和祈念式典を8月9日に挙行し、原爆犠牲者を慰霊するとともに、世界恒久平和の実現を祈念する。

【拡大分】1,070万3千円  
(被爆70周年関連)  
・国連事務総長の招聘  
・在外被爆者及び在外被爆者遺族招聘  
・式典会場の環境改善

◆有害鳥獣対策費  
:5,529万円  
有害鳥獣による農業及び生活環境への被害防止対策として実施する、鳥獣の侵入を防ぐワイヤーメッシュ柵や電気柵等の貸与、鳥獣の予察捕獲委託、専門業者への有害鳥獣対策相談等委託、長崎市有害鳥獣対策協議会の運営補助等に要する経費。

## ご相談はお気軽に!



長崎市の都1丁目1444-13  
生活相談室 ☎(861)19885

# いつわ清隆 4年間の議会活動



会派代表質問・一般質問において5回(40項目)全員協議会にて4項目を議論

## 【4年間の質問内容】

年月	項目	年月	項目
平成23年9月8日	<ol style="list-style-type: none"> <li>防災対策について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域防災計画の見直し</li> <li>②自主防災組織の現状</li> <li>③防災行政無線が聞こえにくい地域への対応</li> <li>④小中学校の防災</li> </ol> </li> <li>コンベンション施設の整備について</li> <li>市有地(元船町)の今後の活用について</li> <li>職員の自治会加入について</li> </ol>	平成25年12月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>市長の本市の最重要課題の認識について</li> <li>長崎発の下水汚泥処理プラントについて</li> <li>重要寄贈品の保管・管理体制について</li> <li>ジェネリック医薬品の利用促進について</li> <li>元船町の市有地の活用について</li> </ol>
平成24年6月12日	<ol style="list-style-type: none"> <li>行財政改革の推進について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①自治基本条例の制定</li> <li>②もみじ谷葬斎場の今後のあり方の検討</li> <li>③動物捕獲業務の民間委託</li> </ol> </li> <li>東日本大震災のガレキ受け入れの前向きな対応について</li> <li>教育行政について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①学校選択制の見直し後の課題</li> <li>②余裕教室の実態把握と有効活用</li> </ol> </li> <li>市営住宅の空き駐車場の有効活用について</li> </ol>	平成26年2月26日(代表質問)	<ol style="list-style-type: none"> <li>市長の政治姿勢について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①今後の大型事業の進捗と検討状況</li> </ol> </li> <li>福祉行政について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①介護保険制度改正による課題と今後の保険料</li> <li>②特別養護老人ホームへの入所課題</li> <li>③民生委員の定数割れと業務軽減策</li> </ol> </li> <li>長崎がんばら国体・長崎がんばら大会について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①市民の機運の盛り上げ</li> <li>②小中学生の国体へかかわり</li> <li>③大会終了後の選手・指導者への対応</li> <li>④障がい者用トイレの設置対応</li> </ol> </li> <li>ふるさと納税について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①今日までの実績と今後の取り組み</li> </ol> </li> <li>コンパクトシティ構想について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①空き家の現状と課題</li> <li>②市民からの相談内容と対応</li> </ol> </li> </ol>
平成25年3月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>夜景観光振興と節電・環境対策について</li> <li>職員によるひとり暮らし高齢者訪問について</li> <li>生活保護行政について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①本市の生活保護状況</li> <li>②ケースワーカーの配置基準と本市の配置状況</li> <li>③不正受給の実態と防止への取り組み</li> </ol> </li> <li>公益社団法人長崎市シルバー人材センター登録会員の就業状況について</li> <li>第46回衆議院議員選挙における管理委事務局の対応について                     <ol style="list-style-type: none"> <li>①開票始時間・終了の遅れ原因及び対策</li> <li>②投票時間終了後の職員体制</li> <li>③確定投票率と期日前投票率との関係</li> </ol> </li> </ol>	平成26年3月27日	<全員協議会> MICE事業に関する質問 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 説明不足の認識について</li> <li>2. 3月末判断の是非について</li> <li>3. 土地の利活用について</li> <li>4. JR貨物との交渉状況について</li> </ol>

**長崎発の下水汚泥処理プラント**  
 (質問)平成24年3月に、長崎市と地元企業・地元大学の産学官から提案された下水道改革的技術実証事業への提案が国土交通省より採用され、今年4月よりプラントを東部下水処理場に建設して実証実験を行っているが、現在の検証実験の成果と他都市からの問い合わせはないのか、また、長崎市はどのように他都市へ発信しているのか。



建て替えが計画されている「もみじ谷葬斎場」

**もみじ谷葬斎場の今後のあり方の検討について**  
 もみじ谷葬斎場は、昭和53年12月に全面建て替え以来、約33年が経過し老朽化を踏まえ、改修工事を行ってきたが、火葬炉や待合室は施設の不足や狭隘さなど不備な面が多く、将来の火葬需要への対応などの必要課題を抱えていますので、建て替え計画の検討を本年度から着手して平成26年度中に建て替え計画を策定します。

**生活保護行政について**  
 (質問)全国で生活保護の不正受給が増加しているが、長崎市の状況と防止策



東部処理場で実証実験されている下水汚泥処理プラント

**(答弁)** 下水汚泥処理プラントは、処理工程で副産物として発生するメタンガスにより、水熱で処理となる熱源を補うことができるため、設備に要する電力以外は、外部からのエネルギーをほとんど用いないという優れた特徴をもっています。  
 実証実験の成果は、運転に係る課題や解決方法を探るため、継続して行う中で、最終的に搬出される汚泥の容量が従来の3分の1から5分の1程度に減少し、汚泥をもとにした固形燃料が、1日2トン程度製造されることが確かめられています。又、課題も発生しており共同体で課題解決に努めます。  
 他自治体から、技術に対する問い合わせがあります。

**(答弁)** 就労や年金等の収入は福祉事務所に届け出ることが義務づけられていますが、申告義務を知りながら、適正な収入申告を怠り、保護費を過剰に受給したケースがほとんどで、平成22年度は41件・約3,720万円、平成23年度は44件・約4,053万円となっています。  
 不正受給を防止する対策は、「生活保護不正受給防止のしおり」の全世帯配布や家庭訪問、新規開始時などに説明することにより、収入申告義務の徹底などに取り組んでいます。

**国民健康保険証のカード導入とジェネリック医薬品の利用促進**  
 (質問)ジェネリック医薬品の利用拡大に向けて健康保険証にジェネリック医薬品を希望するシールを貼付する等を取り組まないのか、また、長崎市の国民健康保険証は世帯単位の紙式となっているが、世帯内の利便性から1人に1枚のカード式に変えないのか。  
**(答弁)** カード式への変更は、平成27年度からの導入に向けてシステム等の調整を行います。「希望シール」は使用しやすい環境づくりにつながると考えられますので、保険証のカード化を契機に取り入れます。

**介護保険制度改正による課題について**  
 (質問)厚生労働省は2015年度からの介護保険制度改正で、軽度認定者へのサービス見直しや高所得者の利用者負担増など費用抑制策が検討されているが、要支援者のサービス事業は、市町村の地域支援事業に移行するとするが、要支援認定者のサービスの低下や事業所への影響はないのか。  
**(答弁)** 制度改正での利用者の影響は、従来どおり介護予防訪問介護や介護予防通所での介護を利用できなくなるのではないかと。  
 ボランティア団体等がサービス提供者として参入により、サービスの質が低下しないかなどの不安感が生じるのではないかと考えます。  
 介護予防事業者への影響は、サービス単価や人員体制基準を市独自で設定した場合に事業所の運営が保てるか、介護報酬請求を行う事業所職員やケアマネジメントを担当する地域包括支援センターの事務的混乱が生じないかなどの課題が考えられます。

## 主な質問内容

**市有地(元船町)の今後の活用について**

(質問)元船町に現存する建物は防犯上・景観上から問題があると思われるが跡地をどのように有効活用するのか。

**(答弁)** 当該地は長崎駅から大波止に繋がる市中心部の一等地に位置しており、有効活用を図ることは重要であり、早急に現存する倉庫を取り壊し最も有効な活用策を検討します。



元船町の市有地(日通倉庫跡地)

平成27年秋頃に解体し、駐車場用地などとして民間事業者へ貸し出す考えが示されました